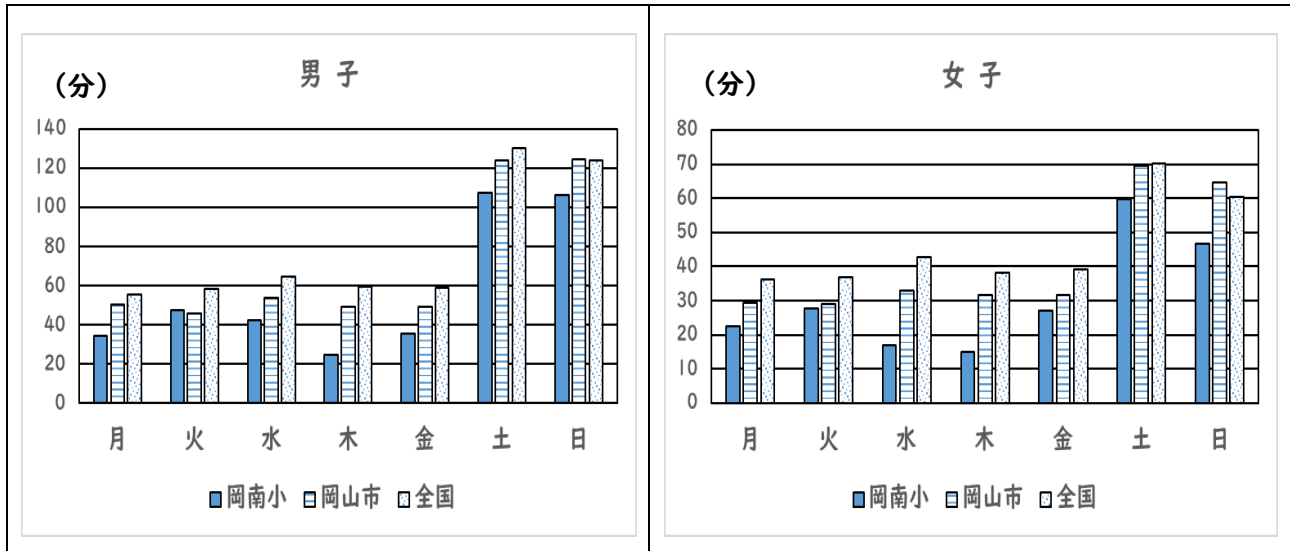


健康戦隊ウンドウジャーといっしょにドキドキ運動習慣づくり

学校名	岡山市立岡南小学校		校長名	奥山 裕史	
児童生徒数	400人	学級数	20	教職員数	45人

< 体育の授業以外の運動やスポーツの時間（曜日別） >  
 （令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査から）

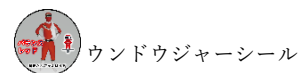


### 1 児童生徒の実態

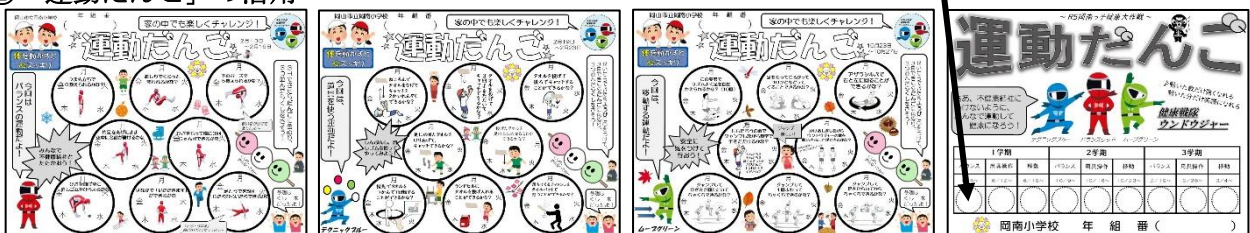
令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から、本校における体育の授業以外の運動やスポーツの時間は岡山市や全国と比べても低い傾向が見られる。休み時間の様子を見ても、外遊びをする子とそうでない子に分かれている傾向がある。体育の学習においても苦手意識が先行し、運動に前向きでない児童はどのクラスにも存在する。運動を身近に感じられる取組が必要だと感じる。

### 2 取組の概要

子どもたちが、よりよい運動習慣を身に付けるためには、「運動することの楽しさ」を経験することが重要であると考え。メディアに囲まれた生活を日常としている子どもの中に、「体をつかった遊び」を少しでも多く取り入れ、体を動かすことの喜びや遊びをつくり出すことのおもしろさを味わわせたいと考える。また、よりよい運動習慣を身に付けるためには、家庭への啓発も不可欠だと考え、以下の取組を行った。



#### ① 「運動だんご」の活用



## ②「健康戦隊ウンドウジャー」からのTV放送やクロムブック配信

今年度も「運動だんご」の内容を健康戦隊ウンドウジャーがTV放送やクロムブックの配信を通して紹介した。各週8個ある運動のうち2つを行い、失敗例や成功例を示すことで児童の意欲を促した。また、ドラマを通じて健康の大切さについてもアナウンスを行っている。



## ③運動の環境整備

鉄棒の下にマットを敷き、掲示板を作成し、遊びカードを毎月貼りかえるようにした。遊びの内容は低学年でもチャレンジできそうなものを選んだ。



## ④家庭への啓発

参観日や入学説明会等の機会に、運動の重要性についてプレゼンを放映した。懇談会では、「家族運動だんご」の持ち帰りも促した。



## 3 成果

運動だんごを始めて3年目となるが、カードの提出率や色を塗った数を見ると、意欲は続いているように感じられる。長期休業中のクロムブック配信とセットにして行うカード（生活習慣のカードと合わせて）も楽しみにしている児童が多いようであった。また、ウンドウジャーの放送があるからの理由で遅刻傾向の児童が朝早く登校するケースも職員から耳にした。

## 4 課題・今後の取組に向けて

運動遊び習慣の定着を目指すためには、年に12週（3週×3学期+長期休業3週）の運動だんごカードが配布される以外の週にどれだけ運動をしようとしているかも重要となってくる。ホームページを改善し、児童が更に運動を身近に感じられるような取組を模索していきたいと考える。

